

2

山田さんは、「身近な道具の昔と今」というテーマでスピーチのリハーサルをしています。次は、リハーサルで実際に話した【スピーチ】と提示したイラスト【A】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。【スピーチ】の提示するものを表します。

【スピーチ】

皆さんは、江戸時代の雨傘と、今私たちがよく使っている雨傘とでは、どのような違いがあるのか知っているでしょうか。

柄のついた傘は、千年以上前に日本に伝わってきたと言われていて、主に貴族や僧侶が日よけとして使っていました。後に雨傘としても使うようになり、江戸時代になると次第に使う人が増えていきました。これが江戸時代の雨傘です。

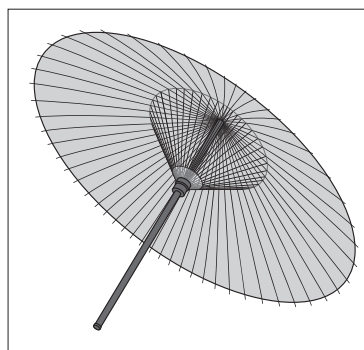
【A】

このような傘は、今でも使われることがあるので、見かけたことがあるかもしれません。

まず、江戸時代の雨傘と、今私たちがよく使っている雨傘とでは、作り方が違います。江戸時代の雨傘は、竹の骨に和紙をはり、油を塗って水をはじくようにしています。(ア)古くなった場合には、和紙をはり替えて使っていたそうです。(イ)一方、今私たちがよく使っている雨傘は、金属の骨にポリエステルをはったものが多いです。(ウ)丈夫で乾きやすい素材が使われているのです。また、骨が傷んだ場合などには修理することもあります。次に、閉じたときの持ち方が違います。(エ)江戸時代の雨傘は、開いたときに握っている部分を下にして持ちます。今私たちがよく使っている雨傘のように持つと開いてしまうからです。

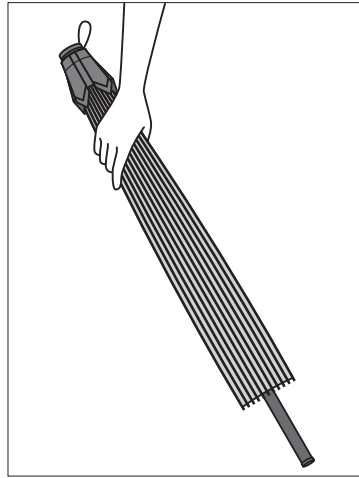
江戸時代の雨傘と、今私たちがよく使っている雨傘とでは、作り方や持ち方が違ってきます。しかし、修理して大切に使うことができる点は同じです。私は雨傘を大切に使うつもりだと思います。そして雨傘だけではなく、他の身近な道具も見つめ直して大切に使うしていきたいです。

イラスト【A】



一 山田さんは、スピーチをより分かりやすくするために、イラスト【A】に加え、次のイラスト【B】を提示することになりました。【スピーチ】の（ア）から（エ）までのどの箇所でも提示すればよいですか。最も適切なものを一つ選びなさい。

イラスト【B】



二 【スピーチ】の構成を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 話題を示した上で調べた事実を述べ、終わりにその事実をもとにした自分の考えを述べている。
- 2 話題を示した上で自分の考えを述べ、次にその考えを支えるための根拠として調べた事実を述べている。
- 3 自分の考えを述べた上で話題を示し、調べた事実を観点ごとにまとめて終わりに述べている。
- 4 自分の考えを述べた上で話題を示し、次に自分の考えに結び付くように調べた事実を述べている。